

平成21年度事業報告書

社団法人 日本観光協会

平成21年度事業報告書

I	組織活動事業	1
II	観光施策推進事業	5
III	広報宣伝事業	16
IV	観光情報の収集・提供事業	19
V	調査研究事業	21
VI	刊行物発行事業	22
VII	人材育成・研修事業	23
VIII	美化事業	26
IX	全国広域観光振興事業	27
X	ホテル・旅館登録事業	30

I 組織活動事業

1. 諸会議の開催

(1) 平成21年度（第46回）通常総会

- ①日 時：平成21年6月11日（木）14:00～
- ②場 所：東京都港区芝公園3-3-1 東京プリンスホテル
- ③議 題：
 - 1) 主要事業の取り組みの現状について
 - 2) 平成20年度事業報告（案）について
 - 3) 平成20年度決算（案）について
 - 4) 役員の新補充選任（案）について
 - 5) 平成21年度事業計画（案）について
 - 6) 平成21年度予算（案）について
 - 7) 特別承認事項
- ④関連行事：
 - 1) 平成21年度観光事業功労者表彰
 - 2) 平成21年度日本観光ポスターコンクール入賞者表彰
- ⑤情報交換会：

(2) 第143回理事会

- ①日 時：平成21年6月11日（木）12:00～14:00
- ②場 所：東京都港区芝公園3-3-1 東京プリンスホテル
- ③議 題：
 - 1) 平成21年度（第46回）通常総会提出議題について
 - 2) 会員の入会について
 - 3) その他

(3) 第144回理事会

- ①日 時：平成21年9月28日（水）13:30～15:00
- ②場 所：東京都千代田区紀尾井町1-2 グランドプリンスホテル赤坂
- ③議 題：
 - 1) 平成22年度財団法人日本船舶振興会及び財団法人日本宝くじ協会並びに日本商工会議所への助成金等の交付申請（案）について
 - 2) 平成22年度事業計画（案）及び収支計画（案）について
 - 3) 会員の入会について
 - 4) その他

(4) 第145回理事会

- ①日 時：平成22年3月18日（水）13:30～15:00
- ②場 所：東京都千代田区紀尾井町1-2 グランドプリンスホテル赤坂
- ③議 題：
 - 1) 平成21年度事業報告（案）及び決算見込について
 - 2) 全国広域観光振興基金の繰入（案）について
 - 3) 平成22年度事業計画（案）及び収支計画（案）について
 - 4) 全国広域観光振興基金の取り崩し（案）について
 - 5) 日本観光協会の今後の活動方針について
 - 6) 新規会員の入会について
 - 7) 平成22年度第47回通常総会について

(5) 全国広域観光振興事業運営評議会の開催

- ①第20回 日 時：平成21年8月20日（木）
場 所：東京都千代田区 ホテル・ルポール麹町
- ②第21回 日 時：平成22年3月11日（木）
場 所：東京都千代田区 ホテル・ルポール麹町

(6) 都道府県・指定都市観光協会（連盟）会長等会議の開催

- 日 時：平成21年11月26日（木）
- 場 所：東京都中央区 ロイヤルパークホテル
- 議 題：・平成21年度主要事業の概要及び平成22年度事業計画について
- セミナー：着地型旅行商品セミナー

(7) 正副会長・支部長合同会議

- 日 時：平成22年2月24日（水）
- 場 所：東京都中央区 ロイヤルパークホテル
- 議 題：・主要事業の概要について
- ・その他

2. 国際観光交流の促進

台湾事務所の運営（日本財団助成事業）

インバウンド促進により国内観光振興を進めるため、当協会台湾事務所において以下のような誘客宣伝

・交流活動を積極的に行った。

- ①訪日旅行者の利便促進のための情報提供事業
- ②台湾への日本人旅行者に対する安全及び事故防止に関する情報提供事業
- ③台湾の旅行市場、観光事業等調査事業
- ④台湾観光関係当事者との情報交換及び連絡
- ⑤その他訪日外客誘客促進のために必要な業務

3. 行催事への後援・協賛等

各種観光関連行催事を支援するため、次のとおり行催事への後援・協賛等を行った。

行 催 事 名	申 請 者	名 義
アウトドア2009-第9回日本オートキャンプショー	(社)日本オートキャンプ協会	後援
旅行地理検定試験	旅行地理検定協会	〃
第53回秦野丹沢まつり	秦野丹沢まつり実行委員会	〃
第16回京都五花街合同伝統芸能特別公演	(財)京都伝統伎芸振興財団	〃
財団法人日本ナショナルトラスト設立40周年 記念式典・シンポジウム	(財)日本ナショナルトラスト	〃
第1回観光立国教育全国大会	第1回観光立国教育全国大会実行委員会	〃
第34回「京の夏の旅」事業	(社)京都市観光協会	〃
第21回観光英語検定試験	全国語学ビジネス観光教育協会	〃
平成21年度観光ボランティアガイド茨城県大会	茨城県	〃
京都観光未来塾	(社)京都府観光連盟	〃
山形県の観光と物産展(名古屋名鉄展・日本橋三越展)	山形県の観光と物産展実行委員会	〃
KING KALAKURA “THE MERRIE MONARCH” 伊香保ハワイフェスティバル	(社)伊香保温泉観光協会	〃
平成21年度松山の物産と観光展(東京都)	松山市、(財)松山観光コンベンション協会	〃
霧多布湿原花フェア2009	浜中町観光協会	〃
浜中うまいもん市2009	浜中町観光協会	〃
鳥羽みなとまつり	鳥羽みなとまつり大会実行委員会	〃
奥の細道紀行320周年記念事業	奥の細道紀行320周年記念事業実行委員会	〃
第26回飛騨高山観光大学	飛騨高山観光大学実行委員会	〃
第12回いい夫婦の日プロモーション	いい夫婦の日をすすめる会	〃
第62期国際温泉気候連合大会ならびに国際温泉 泉会議	第62期国際温泉気候連合大会ならびに国際温泉 会議組織委員会	〃
第25回新宿御苑・森の薪能	新宿区観光協会	〃
ふるさと全国県人会まつり2009	読売新聞中部支社	〃
第7回全国ほんもの体験フォーラムin北海道	全国ほんもの体験フォーラムin北海道実行委員会	〃
ふるさとアンテナショップめぐりキャンペーン	京王電鉄(株)	〃
全国商工会議所観光振興大会2009 in 神戸	日本商工会議所	〃
第62回秦野たばこ祭	秦野たばこ祭実行委員会	〃
山口どこでも紙芝居セミナー	(社)山口県観光連盟	〃
来て見て食べて感動!九州観光・物産フェア2009	来て見て食べて感動!九州観光・物産フェア実行委員会	〃
中部広域観光セミナー	中部広域観光推進協議会	〃
ようこそ!農村へキャンペーン	(財)都市農山漁村交流活性化機構	〃
ウインターリゾート2010	ウインターリゾート実行委員会	〃
食・健康・環境・医療を結びつけた子育て環 境づくりと町おこしシンポジウム	支笏湖温泉旅館組合、NPO法人イムノサポート センター	〃
福岡自動車博覧会	福岡自動車博覧会実行委員会	〃
アイランダー2009	国土交通省	〃
第44回「京の冬の旅」事業	(社)京都市観光協会	〃
平成21年度「百万にこにこホスピタリティ運動」	(社)北九州市観光協会	〃
第7回国内観光活性化フォーラム	(社)全国旅行業協会	〃
瀬戸内国際芸術祭2010	瀬戸内国際芸術祭実行委員会	〃
水とめぐみとふれあう水の里の旅コンテスト2010	国土交通省	〃
宇治橋架け替え奉祝記念旅のフォーラム	(社)伊勢志摩観光コンベンション機構、(社)伊 勢市観光協会、宇治橋架け替え奉祝委員会	〃
第10回千葉観光文化フォーラム	(社)千葉市観光協会	〃
キャンピング&RVショー2010	日本RV協会	〃
第12回青森県物産と観光展(沖縄リウボウ)	(社)青森県物産協会	〃
観光・集客サービス産業創造フォーラム2010	経済産業省、(株)アール・ピー・アイ	〃
第2回全国高校生『観光甲子園』	『観光甲子園』大会組織委員会	〃
第13回青森県の物産と観光展(岡山カシマ)	青森県	〃

行 催 事 名	申 請 者	名 義
産業観光フォーラム	名古屋商工会議所	後援
近代化産業遺産を活かした街おこしセミナー	(財)日本立地センター	//
Web版エコツーリズム検定	NPO法人日本エコツーリズム協会	//
第17回地域伝統芸能フェスティバルとっとり・第9回地域	(財)地域伝統芸能活用センター	//
伝統芸能による豊かなまちづくり大会とっとり		協力
女将・イン・フランス	(財)日本ホテル教育センター	//
第63回全国レクリエーション大会	(財)日本レクリエーション協会	//
HOTERES JAPAN 2010	(社)日本能率協会	協賛
平成21年度環境衛生週間	環境省	//
平成21年全国暴力追放運動中央大会	警察庁・全国暴力追放運動推進センター	//
日本の宿おもてなし検定	日本の宿おもてなし検定委員会	//
第52回旅と温泉展	(社)日本温泉協会	//
第42回日本観光祈願祭	(社)伊勢市観光協会	主催
平成21年度新日本観光写真展 (※)	(財)日本交通文化協会	協賛
平成21年度東京都観光菊花大会 (※)	東京都	//
第49回新潟県菊花展覧会 (※)	新潟県菊花連盟	//
おぢや牛の角突き (※)	小千谷市観光協会	//
第50回全国推奨観光土産品審査会 (※)	日本商工会議所、全国観光土産品連盟	//
第52回岡山県後楽園菊花大会 (※)	岡山県	後援

※は、当協会会長賞、記念品等を授与

4. 関係機関連絡会議の開催等

(1) 観光関係団体事務局長会議（一水会）の開催

観光関係団体の情報交流のため、観光関係団体事務局長会議（一水会）を開催した。

構成：観光関係全国団体 26団体

(社) 国際観光施設協会	(社) 国際観光日本レストラン協会
(社) 国際観光旅館連盟	(社) 全国農協観光協会
(社) 全国旅行業協会	(社) 全日本シティホテル連盟
(社) 日本オート・キャンプ協会	(社) 日本温泉協会
(社) 日本海外ツアーオペレーター協会	(社) 日本観光通訳協会
(社) 日本観光旅館連盟	(社) 日本ツーリズム産業団体連合会
(社) 日本添乗サービス協会	(社) 日本ホテル協会
(社) 日本ホテルバーメンズ協会	(社) 日本民宿協会
(社) 日本旅行業協会	(財) 国際観光サービスセンター
(財) 地域伝統芸能活用センター	(財) 日本交通公社
(財) 日本修学旅行協会	(財) 日中青少年旅行財団
(財) 日本ナショナルトラスト	(財) 日本ホテル教育センター
(株) ジェイティービー	(社) 日本観光協会

(2) 他の機関が開催する諸会議への参加、協力

地域の観光振興を推進するため、他の機関が開催する次の諸会議に参加、協力した。

- ①中央日本観光協議会（関東甲信越静各県・福島県）
- ②エコツーリズム推進協議会
- ③国際テーマ地区推進協議会

(3) 関係機関の事業促進についての参加・協力

当協会役員等が、政府・公共団体並びに観光団体等の役員・委員等に就任し、それぞれ当該機関の業務の推進を通して、観光事業の振興に努めた。

Ⅱ 観光施策推進事業

1. 旅フェア実行委員会事務局の運営等（一部全国広域観光振興事業）

当協会内に旅フェア2009事業実施のため旅フェア実行委員会事務局を設置し、その運営に当たった。また、旅フェア2010の開催に向け、その準備を進めた。

(1) 第15回日本博覧祭「旅フェア2009」事業の実施

①「旅フェア2009」実施内容

- 1) 主 催：旅フェア実行委員会
- 2) 後 援：国土交通省、総務省、神奈川県、横浜市
- 3) 場 所：神奈川県横浜市 パシフィコ横浜 B、C、Dホール
- 4) 会 期：「一般公開日」 平成21年5月29日（金）～31日（日）
「ビジネスデー」 平成21年5月29日（金）

5) 出展者：101団体 244小間

6) 来場者：105,052人

7) 主催者プログラム

・郷土芸能ステージ

出展地域の観光資源である地域色豊かなスケール感の高い郷土芸能のステージを展開するとともに、最新の観光情報のPRを行った。

・全国お祭りじまんコーナー

出展地域の観光資源である祭典や芸能の祭具・装具をPR展示できる特設コーナーを設置し、話題性の獲得と地域送客促進に寄与した。

・ご当地キャラクター撮影会

子供から大人まで人気のご当地キャラクターとの記念撮影を実施した。

・三崎まぐろの試食会

特設コーナーにおいて一日一回三崎まぐろの解体ショーを行った。その後、まぐろの試食を実施した。

・観光圏スタンプラリーの実施

全国30ヶ所制定されている観光圏のうち、出展した11観光圏と観光庁の協力により観光圏スタンプラリーを実施し各地の特産品などを抽選でプレゼントし、来場者の回遊性を高めることに寄与した。

8) ビジネスデープログラム

・旅フェア観光商談会

着地型旅行業を含む観光関係者を対象とした観光商談会を実施し、実践的な販路拡大・開拓並びに新規旅行商品の造成および地域産品の育成・販売を図った。

・「旅フェア2009」産品相談・商談会

産品の開発・改良や販路開拓方策、評価などについてアドバイスを受ける「相談」と産品を百貨店やスーパー等に対し販路拡大するための「商談」の機会を提供した。

・産業観光セミナー

東京大学大学院工学系研究科・工学部都市工学科教授 経済産業省産業遺産活用委員会座長 西村幸夫氏による「近代化産業遺産の保全と活用をめぐる動き」をテーマとした講演セミナーを実施した。

・旅フェア交流会

出展者相互間、あるいは出展者と講演会等の出演者の交流を促進させ、良好な関係を醸成する場として交流会(懇親会)を実施した。

②「旅フェア2009」実施に係る諸会議の開催

1) 第1回旅フェア実行委員会

日 時：平成20年12月10日（水）14：00～15：30

場 所：グランドプリンスホテル赤坂

2) 第2回旅フェア実行委員会

日 時：平成21年4月22日（水）14：00～15：30

場 所：アジュール竹芝

(2) Yokoso! Japanトラベルマート（国庫受託事業）

旅フェア2009の開催と連携して、ビジット・ジャパン・キャンペーンの対象国を中心とした旅行会社と、日本側セラーとの間でマッチングシステムを活用して個別商談を行う「Yokoso! Japanトラベルマート」を日本政府観光局、日本旅行業協会の協力を得て実施した。また、これに先だって、トラベルマートに参加する訪日旅行商品造成担当者を対象とした「ファミトリップ」を実施した。

・トラベルマート

1) 日 時：平成21年5月28日（木）、29日（金）

2) 会 場：神奈川県横浜市 パシフィコ横浜Bホール

3) 参加者：バイヤー300名、セラー400社規模

(3) 「旅フェア2010」の開催準備

旅フェア実行委員会を開催し、旅フェア2010の開催についての準備を進めた。

1) 名 称：第16回日本観光博覧祭 旅フェア2010

2) 会 期：平成22年5月28日（金）から30日（日）までの3日間

3) 会 場：千葉市 幕張メッセ

4) 第1回旅フェア実行委員会の開催

日 時：平成21年12月15日（火）14:00～15:30

場 所：グランドプリンスホテル赤坂

5) 第2回旅フェア実行委員会の開催

日 時：平成22年4月28日（水）14:00～15:30

場 所：霞ヶ関ビル

2. 観光地づくりの推進事業

(1) 優秀観光地づくり顕彰・普及事業（全国広域観光振興事業）

積極的かつ効果的に観光振興事業を続け、他の地域の参考となるような観光地づくりの成果を生みだしている団体を表彰し、全国に広報することによって、観光地づくりの推進を図った。

①第16回優秀観光地づくり賞受賞団体の広報

第16回優秀観光地づくり賞受賞団体については旅フェア2009の開会式（横浜市パシフィコ横浜）において下記の3団体を表彰した。当該団体の活動事例集を作成したほか、機関誌季刊観光で受賞団体の紹介記事の掲載などの広報を行った。

- 【金賞・国土交通大臣賞】 長崎市（長崎県）
- 【金賞・総務大臣賞】 三浦市（神奈川県）
- 【(社)日本観光協会会長賞】 武雄市（佐賀県）

②第17回優秀観光地づくり賞の募集並びに選考

平成21年10月で募集を締切、書類審査、現地調査、学識経験者、観光関係者、後援者等のメンバーによる選考委員会を経て、受賞団体を決定した。

- 【金賞・国土交通大臣賞】 (社)宇治市観光協会（京都府）

(2) フラワーツーリズムの推進

①花の観光地づくり大賞（日本宝くじ協会助成事業）

花による観光地づくりを推進し、地域の観光に寄与している全国の市町村や団体等で最も優れた実績と将来計画を有するものに対し、「花の観光地づくり大賞」を授与するとともに、すぐれたデザインのプランターを贈呈し、「花の観光地づくり」を支援した。

- 【大賞】 新ひだか町（北海道新ひだか町）
俵山しゃくなげ園（山口県長門市）
- 【フラワーツーリズム賞】 奈良井区自治協議会（長野県塩尻市）
豊川市観光協会（愛知県豊川市）
- 【審査員特別賞】 いなべ市農業公園（三重県いなべ市）
- 【奨励賞・花の彩り賞】 大神高開集落（徳島県吉野川市）
- 【奨励賞・花の育むまちの底力賞】 川渡温泉菜の花畑を作る会（宮城県大崎市）
- 【努力賞・心の花賞】 坂田城跡梅林組合（千葉県横芝光町）
鋸南町花のボランティアの会（千葉県鋸南町）
花ももの里実行委員会（長野県佐久穂町）
湯谷温泉・鳳来峡おかみの会（愛知県新城市）
山陰花めぐり協議会（島根県松江市）

②第6回「花のくに日本運動」推進大会in浜名湖

平成21年10月8日(木)～9日(金)に静岡県浜松市で開催の予定であったが、大型台風(台風18号)接近のため中止することとなった。

③フラワーツーリズム推進協議会理事会の開催

- 1)開催日：平成21年5月11日（月）
- 2)開催地：東京都中央区 鉄鋼会館

(3) 産業観光の推進事業（全国広域観光振興事業他）

産業施設や産業文化遺産等を観光の対象とする産業観光の振興により、地域の観光振興や産業活性化を図ることを目的として、地域での産業観光に対する取り組みや旅行商品化等を促進した。

具体的には、産業遺産等未利用資源の発掘や事例収集調査及び産業観光振興のためのマニュアルの策定を行うとともに、全国の産業観光を行っている地域や関連企業等が一堂に会する「全国産業観光フォーラム」等を地方自治体等と協力して開催した。

①全国産業観光フォーラムin上州とみおか2009の開催

- 1)開催日：平成21年10月22日（木）～23日（金）
- 2)開催地：群馬県富岡市 富岡市かぶら文化ホール
- 3)テーマ：「日本近代産業発祥の地 ぐんま富岡から未来を拓く」
- 4)参加者：670名

5)内 容：記念対談「世界遺産を訪ねて」

城 戸 真亜子 画家・女優

須 田 寛 全国産業観光推進協議会副会長・J R東海相談役

第1分科会「産業近代化を支えた絹の道～世界遺産の保全と活用～」

コーディネーター

今 井 幹 夫 富岡製糸場総合研究センター所長

パネリスト

赤 崎 まき子 (株)エイ・ワークス代表取締役

大 國 晴 雄 大田市教育委員会教育部長

前・大田市石見銀山課長

宮 崎 俊 弥 前橋国際大学教授

第2分科会「絹産業遺産群を活かすネットワークと広域観光」

コーディネーター

松 浦 利 隆 群馬県世界遺産推進課長

パネリスト

清 水 慶 一 国立科学博物館・工学博士

清 水 慎 一 (株)JTB常務取締役・立教大学客員教授

近代化産業遺産33群委員

政 所 利 子 (株)玄代表取締役・コンサルタント

富 澤 昇 上毛新聞社経理局長

第3分科会「産業遺産を活用した交流街づくり」

コーディネーター

横 島 正 治 NPO環境システム研究会理事長

シーニックバイウェイ委員・元高崎経済大学教授

パネリスト

関 幸 子 NPO地域産業おこしに燃える人の会理事長

稲 村 秀 樹 桐生市教育委員会文化財保護課長

今 井 清二郎 前富岡市長

分科会報告

須 田 寛 全国観光産業推進協議会副会長・J R東海相談役

②第5回産業観光ワークショップin京都

- 1)開催日：平成21年10月12日(祝・月)～13日(火)
- 2)開催テーマ：「琵琶湖疏水を活かした京都らしい産業観光」
- 3)参加者：56名
- 4)内 容：交流会 10月12日(祝・月)17:30～20:00
 現地視察 10月13日(火) 9:30～12:00
 ワークショップ 10月13日(火) 13:00～15:00

③全国産業観光推進協議会理事会の開催

- 日 時：平成21年5月29日(金)
場 所：神奈川県横浜市 パシフィコ横浜
＜同時開催：近代化産業遺産活用セミナー＞
テーマ：近代化産業遺産の保全と活用をめぐる動き
講 師：西村 幸夫 氏 東京大学大学院工学系研究科・工学部都市工学科教授
 経済産業省産業遺産活用委員会座長

④第3回「産業観光まちづくり大賞」の実施

- 【金 賞】 北九州市
【銀 賞】 函館市
 益子アートウォーク実行委員会
【特 別 賞】 横須賀市・横須賀集客促進実行委員会・(株)トライアングル
 YKK(株)・黒部市

④産業観光推進会議における具体的な推進方策の検討

第3期となる平成21年度は、産業観光資源とこれらの視察・ツーリズムを、より身近に体験するための「ウォーキング事業」に着目し、これら事業の展開のための仮題や方法論についての検討・提言活動を展開した。

(4)ヘルスツーリズムの推進(全国広域観光振興事業)

健康増進を目的とするヘルスツーリズムをテーマとした新たな観光形態について検討を進めるとともに、ヘルスツーリズムに取り組もうとしている観光事業者、地域関係者の方に活用しやすい基礎的なワンポイント集を作成し、ヘルスツーリズム・滞在型観光の推進・普及に努めた。

- ①ヘルスツーリズム推進のためのワンポイント集作成
- ②医科学的根拠データの収集・整理
- ③出版物の作成・普及等

(5)着地型旅行の推進

地域密着型のニューツーリズムの推進が期待されている中、各地域が効果的な誘客を図るためには、これまでの大量送客型旅行商品造成等の取り組みとは違った視点が必要となってきた。平成21年度は社団法人全国旅行業協会が主催する国内観光活性化フォーラムを支援するとともに、随時、各地域と連携しながら着地型旅行を推進した。

また、第9回都道府県・指定都市観光協会(連盟)会長等会議にあわせ、下記セミナーを開催した。

＜着地型旅行商品セミナー＞

- 開催日：平成21年11月26日(木)
場 所：東京都中央区 ロイヤルパークホテル
内 容：群馬県における着地型旅行商品造成・販売手段と今後の観光協会の方向性について
講 師：(財)群馬県観光国際協会 牧野文成事務局長

(6) 自動車旅行推進事業

自動車旅行の推進による観光振興、自動車による個人旅行の活性化や市場化を目的とした企業、団体、地域による連携により、平成19年4月に「自動車旅行推進機構」(通称「カーたび機構」)が発足した。

(事務局：(社)日本観光協会総合研究所)

機構内には、広報部会、旅行商品部会、コンテンツ・データベース部会、各部会横断的なコラボプロジェクトなどの部会を設置し、自動車旅行の専門的・具体的検討を行う他、機構会員の相互連携による様々な取り組みを行った。

- ①旅フェア2009、東京モーターショー2009へのブース出展
- ②カーたびフォーラムの開催
- ③ドライブルートの策定、各ルートを紹介したフリーマガジンの発行、各社のウェブサイトと連携した各種サービスの提供
- ④自動車旅行推進機構ホームページ(<http://www.car-tabi.jp/>)による広報 等

(7) 国内観光需要喚起事業(全国広域観光振興事業)

宿泊観光旅行回数、宿泊数の低迷が続く国内観光において、国内観光需要の更なる掘り起こしが求められている。そこで、国内観光需要喚起に大きな役割を果たしている道府県や道府県観光協会(連盟)、航空会社、鉄道会社、旅行会社等の各種キャンペーンと連動し、当協会の「旅そうだん」サイトにおいて需要喚起促進のための施策を実施した。

また、観光庁とともに当協会が事務局を務める「国内観光旅行の振興に関する連絡会議」等と連携し、効果的に事業を実施した。

- ①国内観光需要喚起サイトを構築し、「旅そうだん」サイトと連携
「旅そうだん」内に新コンテンツ「未来からのチケット」を構築し、旅行に興味を持つ一般消費者向けに、国内観光需要喚起を呼びかけた。
- ②各地域と観光関連企業との事業連携の調整
新コンテンツページに、観光関連企業のHPをリンクし、キャンペーン掲載の準備を行った。
- ③航空会社・旅行会社との連携企画
- ④その他国内観光需要喚起のための雑誌媒体との連携

(8) 地域要望に基づく地域への協力事業(全国広域観光振興事業)

全国の観光振興に取り組んでいる地域を対象に、その地域独自のテーマや課題にふさわしい事業を、地域自らの要望・提案に基づき実施することにより、地域の観光の推進を支援した。

支 部	内 容
北海道	北海道紹介DVDの作成事業
東 北	東北誘客宣伝事業
関 東	関東ブロック観光マップの作成事業
中 部	外国語による広域観光宣伝資料作成事業
関 西	ほんまにええとこ関西 京都観光展開催事業
中 国	YOKOSO! JAPAN トラベルマート参加事業
四 国	「四国八十八ヵ所案内」四国観光地図のパンフレット印刷事業
九 州	観光関連マップの作成事業

(9) 観光地緊急支援事業（全国広域観光振興事業）

自然災害等の際において、被災地の道府県、道府県観光協会（連盟）との一致協力の下に、被災地等の観光復興のための必要な観光復興キャンペーン等を展開することにより当該地域の観光の再生を図る。

平成21年度は、関西地区における新型インフルエンザの発生による観光への被害に関して、関西等各府県による東京駅八重洲口でのキャンペーン、関係機関への要請活動に対して、関西支部が取りまとめ役となって支援を行った。

3. 訪日外客誘致の促進に関する諸施策の推進

(1) 海外観光展への参加・調整等事業（全国広域観光振興事業他）

海外で開催される国際観光展への参加は観光ディスティネーション、観光対象、観光施設、交通手段等を数多く潜在旅行者や観光事業者と同時に訴求できることから、観光客の誘致宣伝活動として非常に有効な手法と考えられる。このため、我が国にとっての重要な旅行市場である台湾等で開催される観光展に参加することにより海外からの訪日客の来訪を促進する目的で事業を実施している。

平成21年度においては、ビジット・ジャパン・キャンペーンの重点市場である台湾市場において、道府県のディスティネーションの最も魅力的な部分に焦点をあてて観光魅力を積極的にPRするとともに、台湾側の旅行会社や航空会社、マスコミ等に対し、随時、道府県の観光パンフレット等を提供し、旅行商品造成支援を行った。

①台北国際旅行博（ITF2009）への出展及び商談会の実施

台湾最大の旅行博である台北国際旅行博（ITF2009）において日本ゾーンを形成するとともに、国からの委託を受けてビジット・ジャパン・キャンペーンブースを出展し、日本の最新の観光情報の提供等を行った。また、ITFの開催にあわせ、当協会主催事業として商談会を実施した。

- 1) 期 間：2009年10月30日（金）～11月2日（月）
- 2) 場 所：台北市 台北世界貿易センター
- 3) 参加国：58カ国
- 4) 出展団体：日本側37団体74ブース（全体1206ブース）
- 5) 来場者：210,752人

②高雄旅行展への出展（国庫受託事業）及び商談会の実施

台湾の第2の都市である高雄市で高雄旅行展(KTF)が開催される機会に、ビジット・ジャパン・キャンペーンを周知するとともに、現地旅行社、マスコミ向けに夏期旅行商品、個人旅行商品等、訪日旅行促進のための商談会を開催し、PRを行った。

- 1) 期 間：平成21年5月8日（金）～11日（月）
- 2) 会 場：高雄市 工商展覧中心
- 3) 入場者：86,636人

③Yokoso! Japanトラベルマート(国庫受託事業)

- 1) 主 催：観光庁
- 2) トラベルマート：
期 間：平成21年5月28日(木)、29日(金)
会 場：神奈川県横浜市 パシフィコ横浜Bホール(旅フェア会場と隣接)
参加者：バイヤー300名、セラー400社規模
- 3) ファムトリップ：
期 間：平成21年5月24日(日)～27日(水)
コース：北海道(2コース)、東北、北陸・中部、長野・北陸、静岡、関西、中国、四国、南九州、
沖縄、関西・関東(ゴールドルート2コース)【全13コース】

④訪日台湾教育旅行関係者招請事業（国庫受託事業）

近年、日台間で交流が進みつつある学生・学校間の交流「教育旅行」を普及させることにより、若年層を対象とした今後の需要の開拓やリーダーの創出につなげるため、台湾からの訪日教育旅行の促進を図った。

- 1) 台湾での現地説明会の開催
・台北地区
期 日：平成21年6月16日（火）

会 場：台北市 国賓大飯店

参加者：日本側29団体42名、台湾側67名

・台中地区

期 日：平成21年6月17日（水）

会 場：台中市 HOTEL ONE

参加者：日本側24団体34名、台湾側49名

・高雄地区

期 日：平成21年6月18日（木）

会 場：高雄市 国賓大飯店

参加者：日本側24団体36名、台湾側42名

2) 日台教育旅行交流座談会及び視察の実施

期 日：平成21年10月2日（金）～3日（土）

会 場：ホテルグランパシフィック LE DAIBA

参加者：日本側93名、台湾側84名（在台80名・在日4名）

⑤ 訪日インセンティブツアー誘致事業（国庫受託事業）

台湾からのインセンティブツアー（報奨旅行）の誘致を目的として、台湾における現地説明会を実施し、訪日インセンティブツアーの促進を図った。

1) 現地旅行会社、企業、マスコミ向け説明会

日 時：平成21年8月27日（木）

会 場：台北市 国賓大飯店

参加者：日本側46団体63名、台湾側50社79名

(2) 台湾等との観光交流促進事業（全国広域観光振興事業他）

日本にとって重要な観光マーケットである諸外国、特に台湾等との間で交流事業を促進している。

① 台湾事務所を拠点とする宣伝誘致、交流促進事業

1) 訪日旅行者の利便促進のための情報提供事業

2) 台湾への日本人旅行者に対する安全及び事故防止に関する情報提供事業

3) 台湾の旅行市場、観光事業等調査事業

4) 台湾観光関係当事者との情報交換及び連絡

5) その他訪日外客誘客促進のために必要な業務

② 日台観光サミットの開催

日台間の観光交流は日本側のインバウンド施策「ビジット・ジャパン・キャンペーン」に加え、アウトバウンド施策としての「ビジット・ワールド・キャンペーン」が、一方、台湾側では「台湾旅行年2008～2009」といったインバウンド施策が新たに展開されている。このような中、日本旅行業協会との共催により、日台の観光交流300万人を目指して平成19年度に台北市で開催された日台観光サミットを平成20年度は静岡県との協力を得て日本で開催、日台双方の航空会社、旅行会社等のトップレベルの意見交換を行った。平成21年度は、平成22年3月に台湾・南投県で開催した。

1) 日 時：平成22年3月15日（月）

2) 会 場：台湾南投県 南投溪頭米堤大飯店

3) 参加者：日本側39名、台湾側87名

③ 日中韓観光大臣会合

「日中韓観光大臣会合」は、日本、中国、韓国の3国間の人的交流を拡大し、地域の経済の繁栄と社会の発展を促進することを目的とし、3国間の観光交流の拡大と相互協力を一層強化するため開催されている。第1回は日本（北海道）で、第2回は中国（青島・大連）で、第3回は韓国（釜山・忠清北道）で開催された。

また、3国観光大臣会合と連携し、観光市場の変化及びそれに対応する観光分野における問題点・課題等の把握、また3国間での観光市場拡大のため、日本ツーリズム産業団体連合会及び日本旅行業協会との共催により、民間観光関係者による協議(民間観光フォーラム)を行った。

1) 日中韓観光大臣会合概要

日 時：平成21年10月17日(土)～21日(水)

場 所：中部地域(主会場：名古屋市、高山市)

行 程：10月17日(土) (1日目)

・二国間会合

・歓迎晩餐会(開幕式)

10月18日(日) (2日目)

・日中韓観光大臣会合

・民間観光フォーラム等(フォーラム、観光物産展等)

10月19日(月) (3日目)

・ファミツアー 観光資源視察、交流会等

10月20日(火) (4日目)

・ファミツアー 観光資源視察、交流会等

10月21日(水) (5日目)

・帰国

2) 民間観光フォーラム概要

日 時：平成21年10月18日(日) 9:00～12:00

場 所：名古屋国際会議場・4号館白鳥ホール

参加者：約250名

プログラム：

9:00 開会 地元歓迎挨拶 稲垣 隆司(愛知県副知事)

9:10 中国代表者挨拶 吳 文 学(中国旅游協会副会長)

9:15 韓国代表者挨拶 愼 重 陸(韓国観光協会中央会会長)

9:20 概要説明((社)日本観光協会会長 中村 徹)

9:30 第1テーマ「3か国共同観光キャンペーン」

金井 耿((社)日本旅行業協会会長)

童 衛(中国国際旅行社本社総裁)

洪 源 義(ハンナラ観光代表)

10:20 第2テーマ「観光分野における危機管理体制の確立」

李 孝 仙(釜山外国語大学教授)

石 培 華(中国旅游研究員副院長)

船山 龍二((社)日本ツーリズム産業団体連合会会長)

11:10 まとめ((社)日本観光協会会長 中村 徹)

11:20 閉会

(3) 台湾向けウェブサイト構築・運営及び情報提供事業(全国広域観光振興事業他)

平成15年度に構築したウェブサイトのコンテンツを継承しつつ、さらに台湾人の嗜好にマッチするような内容にリニューアルするとともに、台湾人消費者のニーズが高い日本国内の各種動態情報の充実や、台湾からの訪日旅行の動機付けとなるような情報を積極的に提供するため、台湾向けウェブサイト構築、コンテンツの制作、ウェブサイトの管理を行った。(URL：<http://visit-japan.jp/>)

4. 観光を考える百人委員会（全国広域観光振興事業）

広域的な観光振興のための具体的な取り組みを一層促進するため、全国を8ブロック程度に分けて、域内外の有識者や観光関係者が一堂に会して協議を行い、地域の観光施策のあり方を検討するため、観光を考える百人委員会を開催した。

①第11回中部の観光を考える百人委員会総会

- 1) 日 時：平成21年8月24日（月）
- 2) 場 所：愛知県名古屋市
- 3) 参加者：137名

②関東観光推進会議

- 1) 日 時：平成22年2月12日（金）
- 2) 場 所：東京都千代田区
- 3) 参加者：58名

③四国の観光を考える百人委員会／新四国創造フォーラム

- 1) 日 時：平成22年2月17日（水）
- 2) 場 所：高知県高知市
- 3) 参加者：150名

④中国地方スロー・ツーリズム推進シンポジウム

- 1) 日 時：平成22年3月2日（火）
- 2) 場 所：広島県呉市
- 3) 参加者：120名

5. 中部地域における国際観光交流推進事業

「愛・地球博」基本理念継承発展事業資金の配分金により、中部地域における国際観光交流推進事業として、「北京国際旅游博覧会(BITE2009)」出展事業、「韓国国際観光展(KOTFA2009)」出展事業、中国ハイレベルミッション派遣事業、欧州エージェント関係者招聘事業、香港メディア関係者招聘事業及び台湾メディア活用PRと商品造成支援事業を実施した。

（交付先：中部広域観光推進協議会）

Ⅲ 広報宣伝事業

1. 各種コンクール事業

(1) 日本観光ポスターコンクールの実施

観光ポスターの質的向上をめざして、毎年「日本観光ポスターコンクール」を実施している。平成20年度に制作されたポスターについて優秀作品を決定した。

①応募締切:平成21年3月31日

②審査日:平成21年4月16日

③応募点数:282点(441枚)

④審査員:専門審査員

小谷 育弘 武蔵野美術大学教授

加藤 タキ コーディネーター

北山 孝雄 (株)北山創造研究所代表、プロデューサー

他に主催、後援、協賛団体各審査員

<平成21年度(第59回)日本観光ポスターコンクール受賞作品>

作 品 名	受 賞 団 体
やんばる ふんばる 国頭村 (くにがみそん)	国頭村役場商工観光課 【金賞/国土交通大臣賞】
「あるんだなあ北陸」 (かに・えび・ぶり)	北陸三県誘客促進連携協議会 【銀賞/JRグループ賞】
北東北に、名場面あり。 ～桜の北上	東日本旅客鉄道(株)東京支社 【銀賞/日本政府観光局理事長賞】
湯河原名物、おもてなし攻め。 ・湯河原伝統、浴びせ倒し。	(社)湯河原温泉観光協会 【銀賞/国際観光旅館連盟会長賞】
豊田市観光ポスター 「とよたの自慢」	豊田市観光協会 【銀賞/日本観光旅館連盟会長賞】
三宅島観光ポスター2008年夏 「メッセージ編」5枚組	東京都三宅村/三宅島観光協会 【銀賞/日本交通公社会長賞】
富良野観光ポスター 「物語、生まれる里 富良野」	(社)ふらの観光協会 【銀賞/日本交通文化協会理事長賞】
「なごや近世武家文化」PRポスター (2008年秋・2009年春)	名古屋市市民経済局文化観光部観光推進室 【銀賞/日本観光協会会長賞】
「十和田八幡平。春、始まります。」	秋田県鹿角地域振興局総務企画部地域企画課 【特別賞/地域の笑顔賞】
三市、三翁24の物語 宇部市・美祢市・山陽小野田市の産業 と文化遺産を巡る産業観光ツアー	宇部・美祢・山陽小野田産業観光推進協議会 【特別賞/ニューツーリズム賞】

(2) 優秀観光地づくり顕彰・普及事業（全国広域観光振興事業）

観光客はもとより地域の人にも喜ばれる観光地を目指して積極的かつ効果的に観光振興事業を続け、他の地域の参考となるような観光地づくりの成果を生みだしている団体を表彰し、全国に広報することにより、各地における優秀な観光地づくりの推進を図った。

第17回優秀観光地づくり賞受賞団体

【金賞・国土交通大臣賞】 (社)宇治市観光協会（京都府）

(3) 花の観光地づくり大賞（日本宝くじ協会助成事業）

花の観光地づくりを推進し、地域の観光に寄与している全国の市町村や団体等で最も優れた実績と将来計画を有するものに対し、「花の観光地づくり大賞」を決定、広報をするとともに、すぐれたデザインのプランターを贈呈し、「花の観光地づくり」を支援した。

<平成21年度受賞団体一覧>

賞	表 彰 団 体	
大 賞	新ひだか町	(北海道新ひだか町)
	俵山しゃくなげ園	(山口県長門市)
フラワーツーリズム賞	奈良井区自治協議会	(長野県塩尻市)
	豊川市観光協会	(愛知県豊川市)
審査員特別賞	いなべ市農業公園	(三重県いなべ市)
奨励賞・花の彩り賞	大神高開集落	(徳島県吉野川市)
奨励賞・花を育むまちの底力賞	川渡温泉菜の花畑を作る会	(宮城県大崎市)
努力賞・心の花賞	坂田城跡梅林公園	(千葉県横芝光町)
	鋸南街花のボランティアの会	(千葉県鋸南町)
	花ももの里実行委員会	(長野県佐久穂町)
	湯谷温泉・鳳来峡おかみの会	(愛知県新城市)
	山陰花めぐり協議会	(島根県松江市)

(4) 産業観光まちづくり大賞の実施

産業観光（産業遺産や現在稼働している産業施設等を活用した観光）による観光まちづくりを実践し、他の地域の模範となる地域を表彰する制度として平成19年度より創設し、本年度は下記の5団体を決定、平成21年10月22日(木)群馬県富岡市で開催された「全国産業観光フォーラムin上州とみおか」開会式において表彰式を行った。

【金 賞】北九州市

【銀 賞】函館市

益子アートウォーク実行委員会

【特別賞】横須賀市・横須賀集客促進実行委員会・(株)トライアングル

YKK(株)・黒部市

2. 広報宣伝の実施

(1) 協会ウェブサイト等による広報

会員をはじめとする観光関係者に対し、電話やファックスにより広報を行うとともに協会ウェブサイトを通じて広報を行った。

(2) マスコミへの情報提供

テレビやラジオといったマスコミに対し、随時、問い合わせ等に対応するとともに、定期的に下記に対しては情報提供を行い、番組づくり等を支援した。

- ①テレビ：NHK、フジテレビ、テレビ朝日、テレビ東京、関西テレビ
- ②ラジオ：NHK、文化放送

(3) 国内観光需要喚起事業（全国広域観光振興事業）

宿泊観光旅行回数、宿泊数の低迷が続く国内観光において、国内観光需要の更なる掘り起こしが求められている。そこで、そこで、国内観光需要喚起に大きな役割を果たしている道府県や道府県観光協会（連盟）、航空会社、鉄道会社、旅行会社等の各種キャンペーンと連動し、当協会の「全国旅そうだん」サイトにおいて需要喚起促進のための施策を実施した。

①国内観光需要喚起サイトを構築し、「全国旅そうだん」サイトと連携

「全国旅そうだん」内に新コンテンツ「未来からのチケット」を構築し、旅行に興味を持つ一般消費者向けに、国内観光需要喚起を呼びかけた。

②各地域と観光関連企業との事業連携の調整

新コンテンツページに、観光関連企業のHPをリンクし、キャンペーン掲載の準備を行った。

③航空会社・旅行会社との連携企画

④その他国内観光需要喚起のための雑誌媒体との連携

Ⅳ 観光情報の収集・提供事業

1. 総合観光情報の体系的整備事業

地域別に、「全国観光情報データベース」の更新業務を、都道府県観光協会（連盟）、市町村の協力を得て行い、最新情報の収集を図った。

2. 全国地域観光情報の提供事業（全国広域観光振興事業）

全国地域観光情報センターを通じて、ホームページを中心に情報発信を行うとともに、モバイルサイトをリニューアルし、一般消費者に「いつ、どこにいても、ほしいときに、ほしい観光情報」を提供する体制の整備を進めた。

（1）全国地域観光情報センターの運営

平成20年度に引き続き、21年度も全国旅そうだんの運用・運営を実施し、インターネット利用者に幅広く全国の観光情報を提供した。平成21年5月からリニューアル後の「旅そうだん」がスタートした。リニューアル後のアクセス数は、従来の7割程度に減少したが、これはリニューアルにより操作性が向上し遷移画面数が減少したためと想定される。また、秋の行楽シーズン、年末年始にかけてアクセス数が著しく向上する現象は、リニューアル後も同様であった。

①テーマ別観光情報（プチ特集・旅記事）の充実

20年度より、季節特集とは別に提供していたプチ特集の提供内容をさらに充実させた。また、各地域に伝わる味覚の魅力から旅へと訴求する旅のよみもの「旬を歩く」を、1ヶ月につき3都道府県ずつ、ほぼ毎月にわたり掲載した。

②関東地方における紅葉予測実施について

20年度に引き続き、紅葉の予測実施を行った。媒体での露出は1年目ほどではなかったが、アクセス数は、20年度とほぼ変わりなく推移し、10月・11月の平均アクセスは、約18.5万PV/日であった。

③季節特集の通年化

リニューアル後、検索サイトでの上位表示、また前後の季節情報を利用者へ提供するため、季節特集を通年閲覧できるINDEXページを設けた。また積極的にプレサイトを開設し、季節を先取りしたい利用者へも情報を提供した。

④桜の見頃あてクイズ！キャンペーンの実施

桜特集リニューアルにあわせ、桜特集サイトの認知拡大のため、サイト内を回遊させて回答を促すクイズキャンペーンを実施した。

⑥国内観光需要喚起サイト「未来からのチケット」との連携

国内観光需要喚起サイト「未来からのチケット」は、20代、30代女性をターゲットとして3月にオープンしたが、「旅そうだん」は同サイトへの導入口及びコンテンツ受け皿として連携を図った。

（2）マルチメディア型観光情報の整備

①画像情報の拡大とフォトライブラリーの構築

平成20年度に引き続き、画像情報の更新を図った。

②緯度経度情報の拡大

新規登録あるいは住所変更となった観光施設や資源の緯度経度情報を収集・更新した。

③ASP配信によるデジタル地図データの提供

(株)ゼンリン製のデジタル地図を利用、観光情報と共に提供した。

④地図検索の導入

リニューアル後、地図上でスポットを視認し選択させる地図検索を導入した。地図表示と同時にスポットの名称・写真・概要を地図右に表示させ、スポットへの誘導を図った。

⑤観光ブログの充実・ブログサービスの強化

ブログのもつ随時性・即時性という特徴をより強化するため、リニューアルでは旅じまんのページを独立させるとともに、都道府県別・フリーワード別・カテゴリ別検索機能などを付加した。

⑥ガジェットサービスの導入

更新性の高い季節特集にガジェット機能を用意し、利用者に、よりすばやく、ダイレクトに更新情報を配信した。

⑦「旅そうだん」モバイルサイトのリニューアルオープン

観光情報と親和性が高く、かつ20代、30代女性が中心利用者層であるモバイル端末での情報提供を強化するため、携帯電話向けサイトを22年3月にリニューアルした。

⑧道府県へのフィードバック

道府県等からの要請に応じて、旅そうだん上にてアンケート調査を実施した。

3. 観光情報関連事業

(1) 季節観光情報収集・提供事業の実施

季節毎の観光情報を都道府県観光協会・観光連盟や市町村等の協力を得て収集し、全国地域観光情報センターを通じて提供するとともに、携帯電話や携帯端末の観光情報サービス、カーナビゲーションシステム、マスコミ、旅行関係会社、団体等に情報提供を行った。

①収集提供情報の内容

祭・イベント、花の名所・開花、花火大会、紅葉の名所・色づき、スキー場積雪情報等

②季節毎の観光情報収集提供期間

- ・花火大会情報提供事業 5月14日～9月16日
- ・紅葉・味覚狩り情報提供事業 7月22日～12月15日
- ・スキー情報提供事業 9月30日～翌年5月31日
- ・年末年始情報提供事業 10月6日～翌年1月15日
- ・桜情報提供事業 翌年1月22日～5月15日

③情報の提供先

旅行会社や航空会社、地図会社、また、カーナビ、携帯情報端末、携帯電話等に観光情報を提供している会社等に幅広く観光情報を提供した。

(2) 観光情報システム連絡会議の開催

都道府県・指定都市及び観光協会（連盟）との連携強化と事務連絡の円滑化を図るため「観光情報システムに関する連絡会議」を下記5か所で開催した。

- | | | |
|-------------|------------|-----|
| ①北海道・東北ブロック | 平成21年6月4日 | 仙台市 |
| ②関東ブロック | 平成21年5月19日 | 東京都 |
| ③中部・関西ブロック | 平成21年6月3日 | 大阪市 |
| ④中国・四国ブロック | 平成21年5月15日 | 高松市 |
| ⑤九州ブロック | 平成21年6月5日 | 福岡市 |

V 調査研究事業

1. 研究事業

(1) 観光の実態と志向調査（日本財団助成事業）

昭和39年以来28回目となる本調査は、我が国の伝統ある観光統計調査であり、全国4,500人を対象にアンケート調査を実施し、国民の観光需要の現状と希望の特徴を把握するとともに、年次傾向を明らかにするもの。本年度は、過去1年間の宿泊旅行、今後1年間の宿泊観光旅行の志向について分析するとともに、過去のデータからの時系列分析を行った。

(2) 受託調査事業の実施

国、地方自治体及び各種団体からの委託により、次の調査・計画策定事業の打合せ・実施等を行った。

事業名	委託者
観光地域プロデューサーモデル事業	国土交通省
高崎市観光振興計画策定事業	群馬県高崎市
旭市地域資源価値創造事業	千葉県旭市
広域柏崎地域における観光交流を通じた復興・再生事業	新潟県柏崎市
町田市観光客数実態調査事業	東京都町田市
笛吹市観光振興ビジョン策定事業	山梨県笛吹市
伯耆町管区振興計画策定支援事業	鳥取県伯耆町
高崎市まち歩き観光プログラム創出事業	群馬県高崎市
旭市定住自立圏形成方針作成基礎調査事業	千葉県旭市
東京都観光客数等実態調査事業	東京都

(3) 観光地づくり計画手法の策定・普及事業

受託調査事業や資源づくり推進事業等を通じて、観光地づくりや観光の基礎データ等、観光に関する様々な調査、計画手法に関する研究等を行った。

(4) 国内観光旅行促進に関する調査検討

近年の国内観光需要の低迷に係る構造的な要因、特に若者の旅行離れの原因を探り、必要な対策と考え方や具体的な指針についてとりまとめを行い、平成21年6月に開催された第46回通常総会席上でセミナーとして報告した。

VI 刊行物発行事業

1. 季刊「観光とまちづくり」の発行

協会の機関誌 季刊「観光とまちづくり」は、都道府県、都道府県観光協会・連盟、市町村等をはじめ、観光のオピニオンリーダーや全国の観光関係者、研究者、学識経験者、マスコミ関係者、そして観光に関心を持つ一般の消費者等、幅広い読者を持つ唯一の国内観光総合誌として評価をいただいている。

各号では、観光をめぐる最新の情報を提供するとともに、読者に関心の高いテーマを特集としてとりあげ、その分野の専門家や実務家とともに考え、事例をあげながら問題解決の方向を探った。

発行日：年4回（春号4/20、夏号7/20、秋号10/20、新年号1/20）

特集テーマ

- 2010年春号：芸能文化と観光
- 2010年新年号：これからの観光振興とロングステイ
- 2009年秋号：スポーツの魅力と観光
- 2009年夏号：若者たちの観光

2. 資料の刊行

観光に関する最新の情報やデータ、基礎的な観光資料等を提供するため、次の書籍を発行した。

(1) 数字でみる観光（2009-2010年版）

図表を中心に観光の現状をわかりやすくまとめたハンドブックで、観光の基礎的なデータを満載。
(平成21年11月発行)

(2) 全国観光動向－平成19年(度)観光客入込統計

各都道府県の観光客入込調査統計をもとに、全国各地の市町村や観光地毎の平成19年(度)の観光客数をまとめた。
(平成21年7月発行)

(3) 地域紹介・観光ボランティアガイド組織一覧（2009年版）

観光ボランティアガイドは、単に観光案内だけでなく、地域づくりに貢献するなどその重要性はますます高まっていることから、全国で活動している観光ボランティアガイド団体の組織の組織名、住所、電話番号、特色・活動内容、費用等を掲載している。
(平成21年7月発行)

(4) 観光の実態と志向（第28回）

男女全国4,500人を対象にアンケート調査を実施し、国民の観光旅行の現状と希望の特徴を把握するとともに、年次傾向を明らかにしている。昭和39年から隔年に実施してきた統計調査で、平成13年からは毎年実施している。
(平成22年3月発行)

(5) ヘルスツーリズム事例報告書

ヘルスツーリズムの推進主体、推進体制や事業費、助成金基礎となるものから実際の取り組みの内容等を掲載した事例集。
(平成20年3月発行)

(6) 産業観光とまちづくり・まちづかい

地域資源を活用する産業観光が観光交流等の活性化を通じて地域の新たな産業創造を促し、地域活性化につながっている各地の事例とこれらの事業を支援するための関係省庁の各種支援制度を紹介、さらに、産業観光を通じたまちづくり、まちづかいを促進するための5つの課題を提起している。
(平成20年6月発行)

Ⅶ 人材育成・研修事業

1. 観光ボランティア支援事業（全国広域観光振興事業）

近年、地域の観光においてボランティアガイドの役割が増大していることから、ガイド活動の充実、ガイド技術の向上、ガイド組織の整備と連携等を図るため、全国のボランティアガイドによる情報交換等を行う全国大会を開催している。全国大会では、地域と観光客との交流、地域文化の紹介、観光による地域おこしなど幅広いテーマについて討議を行った。

また、ボランティアガイド向けの啓発、研修資料の制作等によるボランティアガイド活動の支援等を行った。

(1) 平成21年度「地域紹介・観光ボランティアガイド全国大会(奈良)」の開催

- ①テーマ：「話そう 語ろう 伝えよう ～わが町、わがふるさと～」
- ②開催日：平成21年11月19日(木)～20日(金)
- ③主催：社団法人日本観光協会
- ④共催：奈良県／奈良市
- ⑤場所：奈良県文化会館 他
- ⑧参加者：1,030名

(2) 観光ボランティアガイド組織の調査・公表

観光ボランティアガイド活動の一助とするため、全国の観光ボランティアガイド組織約1500団体についての現状調査を行い、公表した。

(3) 観光ボランティアガイド情報の提供

ウェブサイト「全国旅そうだん」において、全国の観光ボランティアガイド組織が検索可能なシステムを整備し、情報提供を行った。

2. 人材ネットワーク形成活用事業（全国広域観光振興事業）

各都道府県、観光協会(連盟)、商工会議所などを通じ、また、過去に実施した観光アドバイザー事業や国の実施している観光地域プロデューサー事業の実績などに基づき、地域で積極的に観光振興に取り組んでいる、あるいは取り組もうとしている人材や人材交流・活用の取り組みなどについてデータの整理を行った。

また、地域の抱える多岐多様な問題・課題に対して、的確に答えうる人材をマッチングできるよう、人材ネットワークの形成及び活用方策を検討している。

3. 観光関係人材育成事業

中小企業庁の平成20年度第二次補正予算により日本商工会議所に造成された中小企業経営支援等対策のための基金から補助を受けて平成21年度から実施している。なおこの事業は、中小・小規模企業が求める人材を確保し、雇用問題にも資する事業、20事業の1つ(実践型研修)として位置付けられている。

平成21年度の事業は、観光サービス人材育成研修事業、高度観光人材育成研修事業、地域密着型観光人材育成研修事業の3つに大別され、うち下記の各研修業務において、観光サービス研修については、21県・政令指定都市観光協会(連盟)と、通訳案内業務研修については1観光協会(連盟)と、観光地域プロデューサー養成研修については、5県観光協会(連盟)と共催で実施した。

(1) 観光サービス人材育成研修事業

- ①観光サービス研修
- ②旅館おもてなし研修

(2) 高度観光人材育成研修事業

- ①旅館ホテル客室流通・販売スキルアップ研修
- ②国内旅行業務スキルアップ研修
- ③添乗業務研修(初級)
- ④添乗業務研修(中級・上級)
- ⑤通訳案内業務研修
- ⑥観光経営マネジメント研修

(3) 地域密着型観光人材育成研修事業

- ①観光地域プロデューサー養成研修

4. 地域要望等に基づく地域づくりセミナー、イベント等実施事業

(全国広域観光振興事業他)

地方自治体の観光担当職員、地方観光協会（連盟）職員、観光関係企業の職員等を対象として、次表のとおり各ブロック毎に、地域の要望に応じたテーマを選んでセミナー、イベント等を実施した。

支部	内 容	日 時	開催地	参加者
北海道	北海道、地域づくり街づくり観光セミナー	平成21年11月17日	旭川市	120名
東 北	東北プロモーションin台湾	平成21年8月24日～26日	台湾 高雄市・ 台北市	100名 (高雄) 184名 (台北)
関 東	ニューツーリズムを考えるセミナー	平成21年12月3日	甲州市	56名
中 部	中部ブロック観光セミナー	平成22年3月3日	金沢市	120名
関 西	湖国まるごとツーリズム～ニューツーリズム、エコツーリズムの推進に向けて	平成22年3月1日	大津市	69名
中 国	山口どこでも紙芝居おもしろセミナー	平成21年9月5日	萩市	150名
四 国	四国観光地域づくりセミナー	平成22年1月26日～27日	高松市	187名 (26日) 70名 (27日)
九 州	長崎県インバウンドセミナー	平成21年6月16日	長崎市	192名
	おもてなし向上セミナー	平成22年3月12日	阿蘇市	42名

5. 講師派遣

平成21年度においては、次の地域等に協会役職員を講師として派遣した。

日 付	主催団体等	講演会名	講師
6月11日	(社)海外運輸協力協会	観光振興とマーケティングセミナー	安本 達式
10月7日	(社)海外運輸協力協会	観光振興とマーケティングセミナー	安本 達式
11月18日	都市と農産漁村の共生・対流推進協議会	オーライ!ニッポン和歌山シンポジウム	丁野 朗
11月13日	(財)東京観光財団	台湾の訪日教育旅行事情	大島 正敬
3月2日	(株)ジェイ・アイ・シー	訪日外国人受入接遇研修会(宮古島)	大島 正敬

Ⅶ 美化事業

1. 観光地合同美化キャンペーンの実施

観光地の美化の推進を図るため次の箇所でゴミ持ち帰り、資源のリサイクルを呼びかける「観光地合同美化キャンペーン」を実施した。実施に当たっては、都道府県、市町村、観光協会等の地元関係機関・団体及び日本たばこ産業(株)の協力を得た。

支部	実施地域		実施日	参加者
北海道	北海道千歳	支笏湖畔	8月2日(日)	20名
	北海道遠軽町	国道242号植樹帯(花壇)	10月18日(日)	62名
東北	宮城県仙台市	宮城県塩竈港	7月14日(火)	140名
	宮城県仙台市	宮城県仙台港	7月23日(木)	340名
	宮城県仙台市	宮城県塩竈港	11月12日(木)	123名
関東	新潟県胎内市	はまなすの丘と周辺海岸	6月17日(水)	100名
	栃木県那須町	那須町自然公園	8月2日(日)	22名
	千葉県白子町	県道130号線沿線のグリーンベルト	11月17日(火)	100名
中部	福井県大野市	義景公園	11月15日(日)	50名
関西	三重県志摩市	国府白浜海岸	8月26日(水)	1000名
	滋賀県近江八幡市	八幡堀	9月16日(水)	80名
	京都府宇治市	宇治川周辺	8月10日(月)	100名
中国	鳥取県鳥取市	鳥取砂丘周辺	11月1日(日)	15名
	岡山県真庭市	蒜山高原	9月6日(日)	13名
	山口県下関市	響灘厚島展望公園等	7月25日(土)予定→ 荒天のため中止	*中止
四国	徳島県鳴門市	鳴門公園周辺	8月2日(日)	60名
	高知県安芸市	安芸駅周辺、 岩崎弥太郎公園周辺	8月8日(土)	80名
九州	大分県大分市	今市石畳周辺	10月2日(金)	40名
	宮崎県えびの市、小林市	えびの高原、生駒高原等	10月25日(日)、11月8日(日)の2回	50名+68名の計 118名

2. スタンド灰皿の設置

人混みでの歩きたばこや、路上へのポイ捨てなどを予防し、喫煙マナー向上を図る為、スタンド灰皿を日本たばこ産業(株)の協力を得て、北海道、東北、中部、関西地域の観光地に設置した。

特大(片面・両面タイプ)型、標準(屋内・屋外タイプ)型 計121基

Ⅸ 全国広域観光振興事業

1. 全国広域観光振興事業運営評議会等の開催

全国広域観光振興事業を実施するに当たり、学識経験者、地域の代表からのご意見を伺い、より効果的な事業とするため、全国広域観光振興事業運営評議会を2回開催した。

(1) 全国広域観光振興事業運営評議会の開催

第20回 平成21年8月20日 ホテルルポール麹町 麹町会館（東京都千代田区）

第21回 平成22年3月11日 ホテルルポール麹町 麹町会館（東京都千代田区）

(2) 全国広域観光振興事業運営評議会委員

（平成22年3月11日現在）

学識経験者		青山 佳世	（フリーアナウンサー）
〃		岡本 伸之	（帝京大学経済学部教授）
〃		間宮 忠敏	（（独）国際観光振興機構理事長）
〃		望月 照彦	（多摩大学教授）
〃		森 繁一	（（財）地域創造会長）
〔都道府県職員〕 各ブロック代表者	北海道	柴田 達夫	（北海道経済部観光局長）
	東北	佐藤 和志	（山形県商工労働観光部長）
	関東	久保田 篤	（長野県観光部長）
	中部	三国 栄	（石川県観光交流局長）
	関西	永井 慶一	（和歌山県商工観光労働部長）
	中国	光本 和臣	（広島県商工労働局長）
	四国	工代 祐司	（香川県商工労働部観光交流局長）
	九州	榎本 譲司	（大分県企画振興部長）
	〔都道府県観光協会〕 （連盟）ブロック代表者	北海道	大和田 勲
東北		小笠原 裕	（（社）青森県観光連盟常務理事）
関東		吉川 孝之	（（社）新潟県観光協会常務理事）
中部		藤井 健三	（（社）富山県観光連盟副会長兼専務理事）
関西		中川 博	（（社）三重県観光連盟専務理事）
中国		小林 彬二	（（社）岡山県観光連盟専務理事）
四国		竹岡 忠	（（社）徳島県観光協会常務理事）
九州		寛 従道	（（財）福岡県観光連盟専務理事）

2. 事業実施等の状況

I. 全国観光振興事業

[1] 広域観光の広報及び宣伝事業

(1) 旅フェア支援事業

【 II - 1 参照 P. 5 】

(2) 国内観光需要喚起事業

【 II - 2 参照 P. 10 】

(3) 海外観光宣伝事業

海外観光展への参加・調整等事業

【 II - 3 参照 P. 12 】

台湾等との観光交流・宣伝促進事業

【 II - 3 参照 P. 13 】

台湾向けウェブサイト構築・運営事業

【 II - 3 参照 P. 14 】

[2] 観光による地域づくりの推進事業

(1) 資源づくり推進事業

① 産業観光推進事業

【 II - 2 参照 P. 8 】

② フラワーツーリズム推進事業

【 II - 2 参照 P. 7 】

③ ヘルスツーリズム・滞在型観光の推進事業

【 II - 2 参照 P. 9 】

④ 優秀観光地づくり推進事業

【 II - 2 参照 P. 7 】

(2) 地域づくり・人づくり事業

① 観光ボランティアガイド支援事業

【 VII - 1 参照 P. 23 】

② 人材ネットワーク形成活動事業

【 VII - 2 参照 P. 23 】

③ 地域要望等に基づくセミナー、イベント等実施事業

【 VII - 4 参照 P. 25 】

(3) 地域要望に基づく地域への協力事業

【 II - 2 参照 P. 10 】

(4) 広域観光の推進事業

【 II - 4 参照 P. 15 】

(5) 観光地緊急支援事業

【 II - 2 参照 P. 11 】

[3] 全国地域観光情報の収集・提供事業

【 IV - 2 参照 P. 19 】

II. ブロック別広域観光振興事業

8ブロック各々が、内外での観光展示会の参加・開催、宣伝資料の作成、セミナーの開催など自己のブロックの観光振興にとって最も重要と判断する事業を実施した。

地域名	事業内容
北海道	①ホスピタリティ推進事業 ②地域限定通訳案内士受験者向けセミナー事業 ③第17回台北国際旅行博(ITF2009)出展事業
東北	①第17回台北国際旅行博(ITF2009)出展事業 ②東北プロモーションin台湾事業
関東	①第17回台北国際旅行博(ITF2009)出展事業 ②国内誘致事業(ふるさと観光展) ③国内誘致促進事業(春の関東甲信越静観光展) ④情報提供事業(関東ブロック観光宣伝資料作成)
中部	①第17回台北国際旅行博(ITF2009)出展事業 ②北京国際旅游博覧会(BITE2009)出展事業 ③日中韓観光大臣会合開催支援事業 ④中部広域観光推進協議会推進事業への協力
関西	①国内観光展事業(横浜) ②国内観光展事業(名古屋) ③観光宣伝資料の制作事業
中国	①旅フェア2009出展事業 ②台湾関係事業 (ITF2009出展事業、台湾観光博覧会出展、パンフレット等作成) ③中国地方国際観光ビジネスフォーラム開催事業 ④中国ブロック観光情報サイト推進事業
四国	①第17回台北国際旅行博(ITF2009)出展事業 ②四国インバウンド・フェア連携事業
九州	①旅フェア2009出展 ②第17回台北国際旅行博(ITF2009)出展事業 ③九州観光パンフレットの制作事業 ④観光ボランティアガイド等の育成・強化事業 ⑤先進的な観光人材のネットワーク化と活用強化事業 ⑥沖縄映像コンテンツ活性化事業

X ホテル・旅館登録事業

1. ホテル・旅館登録事業の実施

(1) 国際観光ホテル整備法に基づく登録業務

国際観光ホテル整備法に基づき、ホテル・旅館の登録業務を行った。

区 分	21年度 新規登録件数
ホテル 旅館	23件 10件
計	33件

(平成22年3月31日現在)

(2) 登録標識の製作・販売

登録標識4種の作成販売を行った。

(3) ホームページによる情報提供

21世紀の観光振興に大きな役割が期待されている国際観光ホテル整備法に基づく登録ホテル・旅館の周知のためホームページによる情報提供を行った。(http://hotel.nihon-kankou.or.jp/index.html)